

弁護士法人 岡山パブリック法律事務所

vol.29

ニュース・レター

～あなたに寄り添い 共に生きる法律事務所～

CONTENTS 目次 2020.4.1

- 倉敷支所、権利擁護促進の一翼を担う……………P1
- 入所のご挨拶……………P2
- 発送作業の委託先は……………P2
- 春日町本部のミニギャラリー……………P3
- 「岡山南支所」開所から半年たちました！……………P3
- 最近の春日町本部……………P4

倉敷支所、権利擁護促進の一翼を担う

 社会福祉士 もり りょうすけ 森 亮介


倉敷支所の社会福祉士として勤務している森と申します。まだ入社して1年にも満たない私ではありますが、貴重な機会をいただきましたので少しお話をさせていただければと思います。

現在倉敷支所は弁護士1名、社会福祉士2名（内、身上監護補助1名）、事務局2名、事務パート1名の6名体制です。場所は倉敷駅北口から徒歩10分以内の好立地に開設することができました。

倉敷支所が開設するまで倉敷エリア（後に倉敷支所が受け持つエリアのこと）の案件については岡山市内にある春日町本部が担当していました。この倉敷エリアは、約48万人の人口を有す中核市の倉敷市をはじめ、

井笠エリアも含めた広範囲に渡ります。このエリアの中で最も件数の多い倉敷中心部へ行くのにも片道1時間を要し、最西端の笠岡市にいたっては1時間半もかかってしまうという状態でした。物理的な「距離」というアクセス障がい解消するために倉敷支所を開設したということが大きな理由の一つです。被後見人の方が困っている時にいち早く駆け付けられるということはもちろん、その方を取り巻く支援関係者との連携も密にすることが可能となります。新規案件については相談以前に距離があるからという理由で相談できずいたという声も聞いていました。これまで埋もれていたニーズに答えていくということは今後倉敷支所が担うべき点であると考えます。

もう一つは、倉敷エリアの権利擁護体制をさらに強化していきたいという点です。前述にもあるように、これまでは「距離が遠いから…」という意識の壁によって相談に至らなかったケースもありました。もちろん後見の受け皿は岡山パブリック法律事務所だけではなく、それでもまだまだ担い手が少なくニーズに応えきれていないのが現状です。日常生活自立支援事業も待機者が多く金銭管理難民が増えているという地域課題もあり、そういった部分に少しでも力になりたいと思っています。

倉敷エリアの特徴は、現在受任しているケースの多くが在宅で暮らされている、補助・保佐類型の方であることです。日々診をいただくケースも同様です。在宅のケースでは施設や病院におられる方よりも、在宅ならではの様々な出来事が急に起こることも多々あります。例えば「エアコンが壊れたんじゃけどよう分からんから、今すぐ来て！」などのようなことが日常茶飯事です。地域の支援者と連携し、支援チームとして協働していくことで様々な事態にも対応していけると思っています。ネットワークを拡大していき、より多くのニーズに応えられるよう倉敷支所はONE TEAMで走り続けます。今後とも倉敷支所をどうぞよろしくお願い致します。



入所のご挨拶

弁護士 わたなべ けい
渡辺 慧

ニュース・レターをご覧の皆様、はじめまして。2020年1月より岡山パブリック法律事務所春日町本部で勤務しています弁護士の渡辺慧（わたなべけい）と申します。

出身は、徳島県で、生まれてから高校を卒業するまで徳島で過ごしました。大学は北海道、法科大学院は神戸と、全国各地を飛び回りました。勤務場所が九州であれば、出身が四国、大学が北海道、法科大学院が本州なので、日本全国制覇をすることができたのですが、全国制覇の野望を捨て（そもそも全国制覇の野望はなかったのですが）、自ら司法修習地を岡山と選び、ご縁があり、この度、岡山パブリック法律事務所勤務することとなりました。

趣味は、釣りに行くことで、趣味が高じて、船舶免許までとってしまいました。

また、温泉に行くことも趣味です。源泉かけ流しの温泉にこだわっています。源泉かけ流しとは、湯口から浴槽に注いだ温泉を浴槽内で循環させず、浴槽からあふれた温泉を浴槽に戻さないことをいいます。皆様のご自宅で、蛇口を開けばなしにしてお風呂に入れば、浴槽からお湯があふれると思いますが、その状態が源泉かけ流しです。源泉かけ流しは、とても贅沢なのです。まだ行っていない温泉地がたくさんあるので、温泉巡りもしたいと思っています。

今まで敢えて真面目な話を避けてきましたが、さすがに少しは真面目な話も書かないといけないと思いますので、少し真面目な話を書きます。

私が弁護士を志した理由は、法律を使って、困っている人のお役に立ちたいと考えたからです。日々の業務を通じて、少しでも皆様のお役に立てるように精進していきたくと思っています。

新人弁護士の生活としては、座学の勉強と実務では違うことも多く、もっと勉強しなければいけないなど感じる日々です。

お客様より求められる法的ニーズは、時代とともに変化していくのだと思いますが、時代の変化に取り残されずに、求められる法的ニーズに迅速・正確に対応できるよう、日々研鑽を積んでまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

発送作業の委託先は・・・

岡山パブリック法律事務所のニュースレターは、現在750部発行し、そのうち約400部を郵送でお届けしています。簡単なようで、手間のかかるこの発送作業には膨大な時間がかかります。

担当者は考えました。「どなたか得意な方に手伝ってもらえないのか?」「出来ればお互いにメリットのある形でお願いできないか?」

そこで、毎週、パブリック春日町本部にパンの販売に来てくださっている「多機能型事業所スピカ」さんに相談。スピカさんが、発送作業を担当して下さることになりました。スピカさんとは、伊福町にある素材にこだわったパン屋さんで、障害を有する方々が得意を活かして、お仕事の練習をされている事業所です。

今回のニュースレターの発送作業も、スピカのみなさんに委託作業として取り組んでいただくことが出来、とってもスムーズに発送することが出来ました。本当にありがとうございました。



☑️ 春日町本部のミニギャラリー

現在、春日町本部の受付横ブースや相談室には、色鮮やかな絵が飾られています。

「社会福祉法人ももぞの学園」の作家さんが思い思いに自分を表現した作品です。当事務所の社会福祉士が、ももぞの学園の職員さんと話をする中で実現したミニギャラリーです。お客様の目を楽ませるのはもちろん、パブリック職員も日々癒されています。最近では、何か写真を撮るときは、ミニギャラリーの作品前が定位置です。皆様も春日町本部にお越しの際には是非ご覧ください。



☑️ 「岡山南支所」開所から半年たちました！ 岡山南支所 社会福祉士 やまもと ゆうぞう 山本 雄三



岡山南支所 社会福祉士山本雄三（やまもと ゆうぞう）です。

標記の通り、早いもので半年を迎えることができました。これも弁護士会をはじめ、地域の皆様や支援者の方々のご理解とご協力があったこと。ありがとうございます！

開所以来、問い合わせの電話は徐々に増えてきており、「近くに来たから」「ホームページを見て」など、地域密着型支所としての役割が少しずつ担え始めているのかなと感じております。半面、まだまだ支援の必要な社会的弱者の方やどこに相談したら良いかわからないなど、支援者の方はもちろんですが、地域の皆様へもっと広く知っていただくことが近々の課題だと考えています。

まだまだ未熟ではありますが、【あなたに寄り添い、共に生きる法律事務所】として、「困ったときに駆け付ける」だけでなく、「常に身近で関わること」を念頭に、行政をはじめ地域の社会資源と連携していくこと等を通じて、地域に根差し、地域と共に成長していきたいと思っております。



どうぞよろしくお願い致します。

最後に、支所長である西尾弁護士と山本及び倉敷支所の森谷さんは、日本福祉大学通信教育部を同時期に卒業し、社会福祉士を取得しました。この度、「法曹界×福祉」・「全国で活躍する卒業生」と題しまして、対談やそれぞれの思いなどが日本福祉大学通信教育部様のホームページ及びパンフレットに掲載されていますので、よろしければご覧いただくと幸いです。



最近の春日町本部

弁護士 藤井 藍沙 ふじい あいさ

後見を担当しはじめたばかりのころ、「トクヨウ、ロウケン、サコウジュ……」を何かの呪文だと思っていました、弁護士の藤井です。周囲に助けられながら、毎日少しずつレベルアップする（と思いたい）毎日です。今回は、何でもない、春日町本部での日常を書きます。

1 うちの社福の自慢をさせてください。

パブリックの後見は、1人の方に対して、3人の担当（弁護士、社会福祉士、事務）がつかます。担当3人で、ご本人にとってのより良い支援を考えますが、基本的には、それぞれ役割が決まっています。社会福祉士（社福）が、毎月、定期訪問として、ご本人に会いに行き、ご本人の様子、やり取り等を記録してくれます。私は、この記録を読むのが大好きです。

去年の11月、ある社福の訪問記録を読んで、ぼろっと涙がこぼれました。

11月●日

「テーブルの上に安納芋がある。『安納芋はふかし芋にして食べようと思って買ったけど、ふかすことが出来なかった。もう捨てるしかない』と言われる。→ふかして持っていきます。一旦持ち帰る。」

11月●日

「預かった安納芋、ふかしイモにしてお届けする。喜んでくださる。」

（もちろん、これは一部抜粋であり、定期訪問記録にはお芋の話だけではなく、生活費、体調、部屋の様子など、細かく書かれていました。）

私は、この報告を読んで、こんな素敵な社福と一緒に仕事をできて、幸せだなあと思いました。そして、後見業務を行う上で大事なことやあり方について、改めて考えました。もちろん、お芋はふかし芋にして食べるのが大事、という、芋としてのあり方についての話ではありません。

後見業務を行っている、大変なことがたくさんあります。しかし、後見人は、ご本人のより良い暮らしのために存在しています。報告書上の数字や文字だけではなく、1番大切な、ご本人にとってより良い業務とは、ということを考えながら後見業務に取り組みたいです。

どの社福の机にも、ご本人からもらった手紙、写真などが飾られています。私は、その優しい社福に対して、パブリックの福利厚生だ、と都合のいいことを言い、よく話を聞いてもらっては救われています。きっと、定期訪問記録には書かれていない素敵なやり取りが、まだまだたくさんあるのだと思います。うちの社福はみんなとっても素敵です。

2 センター長がタピオカにはまっていました。

後見センターのセンター長は、江口弁護士です。昨年12月頃から、センター長がタピオカミルクティーを飲んでいるとの情報を、耳にしていました。私も実際にその現場を目撃しました。センター長本人に確認したところ、「タピオカミルクティーを飲みながら、あいみょんを聴いている。」とのことでした。昨年12月の時点では、週3回はタピオカミルクティーを飲んでいたようです。このニュースレターが発行される時、センター長は何にはまっているのでしょうか。

今日も春日町本部は平和です。

弁護士法人 岡山パブリック法律事務所

- 春日町本部…〒700-0905 岡山市北区春日町5番6号 TEL:086-231-1141 FAX:086-803-3677
- 後見センター…〒700-0905 岡山市北区春日町5番6号 TEL:086-206-5410 FAX:086-803-3677
- 津山支所…〒708-0062 岡山県津山市京町73-2 丹沢ビル2階 TEL:0868-31-0035 FAX:0868-31-0036
- 岡山大学内支所…〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1-1 (岡山大学文化科学系 総合研究棟1階) TEL:086-898-1123 FAX:086-898-1124
- 玉野支所…〒706-0002 岡山県玉野市築港1丁目17番5号 サニーセブンビル202 TEL:0863-33-6113 FAX:0863-33-6115
- 岡山南支所…〒702-8022 岡山市南区福成3丁目6番22号 TEL:086-230-7355 FAX:086-230-7356
- 倉敷支所…〒710-0815 倉敷市日吉町442番地11 ファインヴィラ101号室 TEL:086-441-1536 FAX:086-441-1537

【福祉職の皆様へ】・・・無料相談のご案内

福祉職の皆様からの福祉的支援に関するご相談はいつでも無料です。

後見センター TEL(086)206-5410
FAX(086)803-3677